



平成15年5月9日発行

● 兵庫教育大学附属図書館



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
早くも1ヶ月が経ちましたが、新しい生活には慣れましたか? 図書館はご利用いただけますでしょうか?
附属図書館は皆さんの学習・研究を支援するために、さまざまなサービスに努めています。
例えば、皆さんの関心の高いテーマ「文献の探し方」。新入生を対象に、以下のような講座を開きます。
また、年3回程度、映画会を開催し、勉強の合間のリラックスタイムを提供しています。
学習、読書、瞑想(!?)にどうぞ図書館をご利用ください。

春のイ・ベ・ン・ト

新入生集まれ!! お昼休みは図書館の利用説明会だ!

図書館ツアーには約100名ほどのご参加をいただきありがとうございました。
所蔵検索(OPAC)編に続き、今度は文献探索入門編を下記の日程で開催します。
時間はいずれも12:30~13:00で、参加は自由です。もちろん在校生の方もどうぞ。

●文献探索入門編 約25分

研究や論文を書くために欠かせない文献の探索法について、学内の探索ツール(探すための資料やデータベースなど)の利用方法を中心に解説します。また、文献の入手の方法についてもふれる予定。詳しい内容の解説は次のページで。

5/26(月)	文献探索法概論
5/27(火)	図書の探し方(国立国会図書館、兵庫県立図書館、Webcat)
5/28(水)	雑誌論文の探し方(NACSIS-IR[雑誌記事索引])
5/29(木)	ERIC、PsycINFOの使い方
6/ 2(月)	電子ジャーナル、JOISEasyの使い方
6/ 3(火)	朝日新聞記事データベース他 CD-ROMについて

場所：附属図書館 地階 ライブラリーホール

文献探索入門編 内容紹介です。

● 文献探索法概論

文献収集のきっかけからその入手まで、おおまかな流れを解説します。引用文献の見方や、学外の資料を利用する際の図書館サービスについてもふれます。

● 図書の探し方(国立国会図書館, 兵庫県立図書館, Webcat)

図書資料を探す, そして, 学内に無い図書を探す場合に頼りになる検索サイト, 国立国会図書館WebOPAC, 兵庫県立図書館, 日本の総合目録データベースWebcatの検索方法について解説します。ここでヒットした学外の図書の入手方法も少し解説します。

● 雑誌論文の探し方(NACSIS-IR[雑誌記事索引])

国内の雑誌論文を, ことばや著者から網羅的に検索できる便利なツール「雑誌記事索引」。この定番のデータベースの利用方法を解説します。ここでヒットした論文の入手方法についても解説します。また, 国内の学術情報データベースのNACSIS-IRについてもご紹介します。

● ERIC, PsycINFOの使い方

海外の教育/心理学文献を体系的に検索できるERICとPsycINFOデータベース。このやや取っ付きにくく, 複雑そうなデータベースの検索方法をシンプルな検索例を中心にわかりやすく解説します。また, ここでヒットした原文の入手方法についてもふれます。

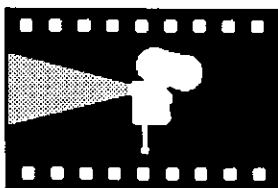
● 電子ジャーナル, JOISEasyの使い方

外国雑誌の全文が見られる便利な電子ジャーナル。科学技術に関する文献情報や研究テーマ情報が検索できるJOIS。その利用方法について説明します。

● 朝日新聞記事データベース, 教育学論説資料などのCD-ROMについて

思いついたことばで検索し, 記事全文を見ることが出来る朝日新聞記事データベース。また本館に所蔵していない大学紀要類の論文原文にあたることのできる教育学論説資料などをはじめとした本学所蔵のCD-ROMを紹介します。

初夏のイ・ベ・ン・ト



シネマテークを開催します!

図書館のAV資料を使った映画会を開催します。今回はご覧のような3本立であなたに迫ります。
みなさん, お誘い合わせの上, お越し下さい。

【作品と開催日時】

6/18 (水) 16:00~17:54	6/19 (木) 16:00~17:30	6/20 (金) 16:00~18:09
ピンポン (日本 2002年)	きれいなおかあさん (中国 1999年)	たそがれ清兵衛 (日本 2002年)
5人の若者たちの青春像を繊細に, そして卓球シーンはCGを巧みに取り入れながらつつっていく青春スポーツ映画	聴覚障害の息子を女手一つで育てる母親の姿を描く感動のドラマ	人間本来の美しい心のありようを, 優しく, ささやかに問いかけてくれる日本映画でしかなしえない必見の秀作

【上映場所】 附属図書館 地階 ライブラリーホール

学生皆さんへ

附属図書館では図書購入のリクエストを受け付けています。

附属図書館の資料としてふさわしいもので、希望する図書があれば、カウンターへ申し込んでください。

＊購入しないもの

・雑誌

・個人購入が望ましい図書

→例えば、ベストセラー小説、文庫、新書、実用書、受験参考書など
上記以外の図書でも予算の関係上、購入できない場合もあります。

I 申込方法

●申込書に必要事項を記入してください。

学籍番号、氏名、希望図書の書名、著者名、出版者、刊行年、価格、購入希望理由などを記入。

出版者、価格など不明な場合は
検索サイト（Yahoo!、Googleなど）で調べてください。

II 結果のお知らせ

- 結果は、附属図書館で選定のうえ、館内掲示板でお知らせします。
- 貸出可能となりましたら、再度、掲示します。

リクエストされた方が最初に優先的に借用できます。
掲示後2週間、カウンターに取り置きしています。

みなさん、どうぞ「学生希望図書」の制度をご利用ください。

模様替えのお知らせ

すでにご存じのかたもいらっしゃると思いますが、図書館では次のような利用環境の整備を行いました。それに伴い、一部の資料の配置が変わっております。

●入館システム

セキュリティ確保のため入館システムを導入。
5月1日より正式稼働しました。

●1階学位論文コーナー

電動集密書架を導入しました。これにより収容能力がアップしました。
なお、ここには官報も収納しています。

●2階教科書コーナー

学位論文コーナーで使用していた書架を2階へ移動し、教科書コーナーをリニューアルしました。

●2階絵本コーナー

西側窓際にあった絵本コーナーを教科書コーナー奥の書架に移動しました。

私のすすめる本

学生みなさんに読んでもらいたい本を先生方からご紹介いただくコーナーです。「図書館だより」及び「図書館ホームページ」で随時掲載していく予定です。

ヒト、この不思議な生き物はどこから来たのか

長谷川眞理子 編 ウェッジ 2002年刊 ウェッジ選書

最新現場報告 子育ての発達心理学－育つ育てられる親と子

清野博子 著 講談社 2002年刊 講談社＋α新書

ヒトとしての発達、人間としての発達を考えさせてくれる本

宮元 博章（教育基礎講座）

心理学というのは極めて多種多様、雑多な学問領域であるが、そうした雑多なものを貫く基軸となりうるものを何か探すとすれば、それは広い意味での「発達」という視点になるだろう。その場合の発達とは、より低い（劣る、未分化な、不完全な）状態から、より高い（優れた、分化した、完成された）状態へ向けての一方向的な進歩といった単純で狭い捉え方ではない。人がヒトという種として受け継いだ生物学的特性をもって、自らの個体を物理的環境や社会文化的環境の中で、何らかの形で適応・進展させていくプロセスをさすものである。抽象的な言い回しになってしまったが、要するに単純な優劣・適不適といった評価概念を超えて、個々人を取り巻く必然・偶然の諸要素との相互作用を通して、人がその人なりに、なるようになって行くプロセスという意味である。まだ抽象的だが。

その際、欠くことのできない観点の一方の極は、ちまちました個人差を超えて人がヒトとして、ほぼ共通にもつ遺伝的・生物学的性質（認知的性質を含む）を、絶対視はしないまでも踏まえておこうとすることであり、もう一方の極は、個々人が社会や文化や、またパーソナルな人間関係の中で、いかにして、その時点、その社会的文脈の中での「その人らしさ」を形作っていくのかを探ろうとすることである。

前者は大ざっぱに言えば「ヒトとしての発達」、後者を大ざっぱに言えば「人間としての発達」ということになるだろう。我々はともすると、人がヒトとして、おそらく5万年ほど前には、どうしたわけか、ほとんどの個体が共通にやっていたこと、やれること（たとえば、言語や数といったシンボルを操り、過去・現在・未来の時間軸の中で物事を捉え、自己を意識し、他者の心的状態を推察することなど）の基盤があるということを忘れて、その基盤上での瑣末な文化差や個人差（のように見えるもの）に拘泥する。知能がどうか、自己主張がどうか、共感性がどうか・・・。

もちろん、そうした文化差や個人差、あるいは個性（のように見えるもの）の重視は、それはそれで我々「人間」が生きていく上で重要な意味があることなのだろう。少なくとも、現代社会に住む人間は、多かれ少なかれそこに意味を感じるようになっていくし、ならざるを得ないシステムを自らで作り上げてきた。それも一種の発達だ。日本を含むある種の社会では、過剰に「意味を付与しすぎ」ているような気もするが。

と、余分な話しはこのくらいにして、本題に入ると、1冊目の本は、進化論的な観点からヒトの心の発達を見るための興味深い材料が提供されており、思考が刺激される。

2冊目の本は、ヒトとしての発達の共通性を背景に見据えつつ、養育者や仲間との相互作用を通して、子ども達がこの世界で生きていく力を発現させていく「人間としての発達の意味」を、現役の新聞記者が、第一線の発達研究者達へのインタビューを交えながら描いている。子どもの発達を見る面白さを感じさせてくれる本である。子ども達の子どものらしい思考・感情・行動パターンは、どれ一つ取っても子どもだけに特有のものではない。成人も含めたヒトがみな基盤として持ち続けている性質であり、子どもの発達過程を見ることで、それが（見ようと思えば）見えてくるのである。だから子どもは面白いのだ。

—— 本館未所蔵のため、発注中です。 ——

日本人のしつけは衰退したか「教育する家族」のゆくえ

広田照幸 著 講談社 1999年刊 講談社現代新書

伊藤 博之（教育方法講座）

たとえば電車内での若者や子ども達の傍若無人ぶりを実際に目の当たりにしたりすると、「よく覚えていないけど、昔はそんな輩は少なかったように思うなあ」「日本人のしつけは衰退しているんじゃないかなあ」と素朴に思ってしまう。

それはどうも私だけでないらしい。つい先日出された中央教育審議会の最終答申(2003/3/20)では、「教育の現状と課題」の一つとして、次のような認識が公言されている。曰く、「家庭や地域社会において心身の健全な成長を促す教育力が十分に発揮されず、人との交流や様々な活動、経験を通じて、敬愛や感謝の念、家族や友人への愛情などをはぐくみ、豊かな人間関係を築くことが難しくなっている」と。

本書は、教育政策がその改革の根拠として採用するにいたっている世間一般的にもたれている上記のようなイメージの正否について、教育の地域差・階層差の存在を直視しその各々の歴史的変遷を追うという方法論でもって学問的に切り込んでいる。学問・研究の醍醐味の一つは、広く一般に何となく「そうだろう」と思われていることを、「きちんと調べたり、考えてみたりしたら実はそうとは言えないんだぜ」とひっくり返して見せることにある。経験は時として、否、しばしば人を欺くのだ。

新書版という紙数の制約もあり、たとえば戦前期においては、明治後半一昭和初年の漁村・農村のしつけ、戦前期の都市下層民のしつけ、大正期に出現した新中間層のしつけのみが取り上げられるにとどまってしまっている。しかしながら、それらの検討のみでも「日本人のしつけは衰退している」というイメージの妥当性を大筋においてひっくり返してくれる。

「うそだろう？」と思し召す御仁には、とりあえず本書を繙いて自らの認識の根拠を検討してみてほしい。むしろ、そういう方にこそ、本書をお勧めするべきなのだろう。

—— 本館未所蔵のため、発注中です。 ——

中央教育審議会の最終答申は文部科学省のホームページで公開

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/index.htm)

「私のすすめる本」原稿大募集中！

教官の皆様。学生にぜひ読んでほしい本、読ませたい本はありませんか？そんな本を紹介するコーナー「私のすすめる本」。原稿は随時受け付けておりますので、ぜひ、先生がたの熱い思いを語っていただき、読書離れに強烈なブレーキを。

原稿は、ファイル、メール、手書きなんでもOKです。情報サービス係までお寄せください。

「図書館だより」「図書館ホームページ」に掲載いたします。

内線2062 メールアドレス:office-2062@office.hyogo-u.ac.jp

● ご存じですか？

～ 兵庫県立図書館から利用のお知らせ ～

本学では附属図書館を通して、兵庫県立図書館の蔵書を利用することができます。利用は無料で、託送便を使って図書の運搬をしています。県立図書館の蔵書目録はURL <http://www.library.pref.hyogo.jp/kensaku/index.html> からアクセスできます。本学図書館ホームページからたどる場合は、

附属図書館HP → 兵庫県立図書館蔵書目録

貸出を希望されるかたは、必ずこの県立図書館蔵書検索で、請求記号を調査した上で、カウンターに備え付けの申込書にご記入ください。下記の託送日の3～4日前を目途に申し込んでください。貸出期間は実質約3週間です。

【託送日】※ 毎週金曜日です。県立図書館への返却も金曜日となります。

5月	(蔵書点検のため、休業)			23日	30日
6月	6日	13日	20日	27日	
7月	4日	11日	18日	25日	

- ★ 兵庫県立図書館では、直接来館者に貸し出すサービスも行っています。特にお急ぎのかたは来館して貸出を受けることができます。ただし、返却も県立図書館へ。県立図書館は明石市の明石公園内にあります。

〔編集部から〕

「図書館だより」はいかがでしたか？ ご意見、ご要望などございましたら、図書館カウンター、または情報サービス係までお寄せください。

E-mail office-2062@office.hyogo-u.ac.jp
内線2062